



### 市長選の結果を受け、市民団体再起動!

7/12(日)に開催された「住民投票を成功させる会」全体会には、40余名が出席し、熱心な討論が行われました。

吉田新市長は立候補の際、「国に対して情報公開の徹底と安全対策を求める」「負担に対する見返りを要求する」と語っており、当選後も既に米海軍と接触もっています。「成功させる会」でも速やかに、そして今後も数多く意見交換を行うことを、新市長に要望することにしました。

また基地対策課にはGW情報公開、日米防災訓練、基地文化、常設型住民投票条例などの問題につき、協議を申し入れます。

尚、本日16日は「市政をつくる会」全体会議が、19日には「市民の会」が開催されます。

### 呉東さん市長選挙で善戦、現職を落選させる!

6月28日に投開票が行われた横須賀市長選挙では、現職の蒲谷氏が落選し、市議だった吉田雄人が当選しました。横三労連が支援した呉東正彦弁護士は、善戦しましたが及びませんでした。各氏の得票は、以下の通りです。

- 吉田雄人氏 68,628(44.0%)
- 蒲谷亮一氏 64,147(41.1%)
- 呉東正彦氏 23,134(14.8%)

常設型の住民投票制度を盛り込んだ「自治基本条例を(2年間で)制定します」、と公約しており、また基地問題や原子力空母問題で、市民の安全確保について触れています。これからの働きかけが重要となってきました。

その後行われた都議選では、民主党が圧勝して与党勢力が過半数を割りました。梅雨も明け、8/30に予想される総選挙に向けて、政治の熱い夏が始まりました。

労連は、他の諸団体とともに6/20(土)に横須賀派遣村を開催し、名誉村長に呉東弁護士を迎えて3人の市民からの相談に応じました。また、土・日ごとの統一行動に参加し、呉東弁護士支持を訴えました。写真は、選挙最終日、Yデッキ下で行われた野外演説会の様子です。

横須賀市で現職の市長が敗れたのは、筆者の知る限り前例がなく、与党勢力が敗れたのは、52年ぶりのことです。一方吉田雄人新市長は、マニフェスト完成版では、

### 8/5(水)に、最賃ハンスト!

昨年に引き続き、8/5(水)0時~16:40 最賃「1000人で1000分ハンスト」が行われます。昨年、神奈川では最賃が30円上がり、これに伴って、横須賀市の非常勤職員の時給も30円以上上がりました。5月の一斉自治体訪問でも、最賃を参考にしている自治体が多い事が明らかになっています。昨年の約束では、今年も30円引上げることになっていますが、抵抗する勢力もあり、難航が予想されます。あなたも最賃ワッペンを身につけて、ハンストに参加しませんか?